

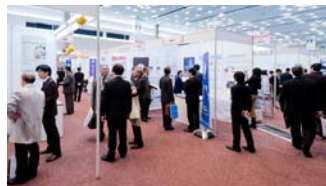
Topics

「ビジネス・エンカレッジ・フェア2011」開催 近畿経済産業局から感謝状

平成23年12月13日・14日の両日、日本の力をひとつにして地域力を高め、東日本大震災からの復興につなげることを目指し、「ビジネス・エンカレッジ・フェア2011～東日本大震災からの復興 今、日本の力をひとつに～」を開催、東北経済界、東北地銀やそのお取引先企業にもご参加いただきました。

当フェアの様子は、平成24年3月、京都大学において開催された「被災地復興のためのビジネスイノベーション」で発表いたしました。

平成24年4月6日には、このような当行の被災地復興支援に向けた取組みに対して、近畿経済産業局より感謝状が贈呈されました。東北地方の中小企業者のビジネスマッチングや販路開拓支援等に取組んだことが評価されました。



「津久野支店」、「住吉御影支店」 平成24年7月オープン!

平成24年7月17日、堺市の「津久野特別出張所」が「津久野支店」として、装いも新たに移転オープンいたしました。より広く、より明るく、そして全自動貸金庫も新設するなど、サービスを一段と向上させました。

さらに7月24日には、神戸市に「住吉御影支店」がオープンいたしました。夙川支店に続く新設で、阪神間の店舗ネットワークが一層充実いたしました。

両店とも、LED照明や太陽光発電システムなど節電に配慮した設備を導入し、「節電対応型店舗」としております。

また、平成26年春には、阿倍野地区で建設中の、完成時には高さ300メートルとなる日本一の高層ビル「あべのハルカス」に、「阿倍野支店」と「外貨両替ショップ阿倍野店」を開設する予定です。



津久野支店イメージ図



住吉御影支店イメージ図

おかげさまで、 蘇州駐在員事務所 開設5周年

平成23年9月6日から9日まで、5周年記念「中国・蘇州 経済ミッション」を派遣いたしました。

9月8日には蘇州市において「蘇州駐在員事務所開設5周年記念レセプション」を開催いたしました。蘇州市人民政府・曹福龍常務副市长、日本国駐上海総領事館・平木場弘人首席領事をはじめ、地元政府関係者や現地日系企業の方々など総勢約400名の皆様にご出席いただきました。

第1部として、「中国ビジネスセミナー」を開催。同年7月27日に、取引先の海外ビジネスサポートで「業務協力協定」を締結した日本通運の中国現地法人から講師をお招きし、中国国内及び蘇州エリアの物流事情についてご講演いただきました。

第2部の「懇親会」では、なごやかな雰囲気の中にも大変活発な情報交換が行われました。

当行はこれからも、ネットワーク先との連携を強化し、蘇州駐在員事務所からお取引先企業に対して、価値のある情報を提供してまいります。



兵庫県立大学と「産学連携協定」締結

平成23年8月23日に兵庫県立大学と「産学連携協定」を締結いたしました。

大学の研究分野を活かした企業との技術相談や共同研究を推進するとともに、今後、大学発ベンチャー企業や産学連携を行う企業などに対する投融資制度の創設も検討してまいります。

これにより連携協定締結の大学は11校となりました(これまでに、関西学院大学、甲南大学、同志社大学、大阪府立大学、大阪市立大学、神戸大学、関西大学、近畿大学、龍谷大学、和歌山大学と締結)。

これからも当行は、産学連携ネットワークを活用し、地元経済発展のお役に立ててまいります。



兵庫県立大学 清原学長

平成23年度ニュービジネス助成金 “地域起こし優秀賞”など決定

新規性・独創性のあるビジネスプランを有する企業や起業家を応援する「ニュービジネス助成金」は、平成15年の創設以来、今回までの応募累計が1,269件となり、当制度は、関西の企業や起業家に広く認知され、定着してまいりました。

12回目となる今回も、幅広い分野から115プランの応募があり、産学官連携による「ニュービジネス目利き委員会」により審査が行われました。

その結果“地域起こし優秀賞(100万円)”4プラン、“奨励賞(各50万円)”8プランが選出され、平成23年12月13日、「ビジネス・エンカレッジ・フェア2011」の会場において、授賞式を執り行いました。

今回までの表彰企業の総数は129社、助成金の総額は、9,000万円を超える規模になりました。



金融業界初! 営業システムに音声認識技術を導入

当行は、株式会社フュートレックが開発した「音声認識技術」に着目し、現在、外貨両替ショップに「自動音声翻訳機」を設置し、銀行業務に活用しております。さらにこの技術を両社で発展させ、平成24年夏を目途に、営業担当者が使用する「営業支援システム」に導入し、音声を変換して営業日報を作成することで業務の効率化を図ります。

今後も、これらの取組みで得られた各種データを、技術の精度向上につなげると共に、新しい銀行業務への活用に取り組んでまいります。

なお、本共同開発の成果を、平成23年10月に東京国際フォーラムで開催されたFIT 2011(国際金融情報技術展)へ出展し、多くの来場者から高い関心を集めました。



「ビジネス交流会2012」開催 「コンソーシアム研究開発助成金」採択プラン決定

平成24年5月8日、「ビジネス交流会2012」をホテル阪急インターナショナルで開催いたしました。

第1部では「平成23年度コンソーシアム研究開発助成金」の採択プランを発表。第2部は、日本総合研究所会長の寺島実郎氏による「世界の構造転換と日本の進路」と題した講演会。第3部は懇親会形式による情報交流の場といたしました。

「コンソーシアム研究開発助成金」は、ご応募いただいた84プランの中から14プランを採択し、総額3,000万円の助成を決定いたしました。この助成金のこれまでの累計応募総数は431プラン、採択プラン総数は113を数え、助成金総額は、2億4,000万円を超えました。



創エネ・省エネ 環境関連の融資制度を創設

平成24年3月1日、企業や家庭における「創エネ・省エネへの対応」や、「環境保全への取組み」を応援するための融資制度を創設いたしました。

事業者の方には、「スマート・エコ・サポートローン」のお取扱いを開始し、さらに、「省エネ診断」や「省エネコンサル」のご紹介をはじめ、各種「省エネソリューション」を提供する企業の紹介までをお手伝いいたします。

また、個人の方には、家庭での取組みを応援するため、「太陽光発電装置の設置」、「省エネリフォーム」や「エコカー購入」におけるご融資金利の引下げ幅を拡大した「スマート・エコ・ローン」をご用意いたしました。

当行は、今後も低炭素社会の構築やスマートエネルギーの推進に向けて、創エネ・省エネに寄与する金融商品や金融サービスの開発・提供等に努めてまいります。



Topics

池田市・蘇州市友好都市締結30周年記念「蘇州昆劇院公演」を特別協賛

平成23年11月19日、池田市民文化会館で、「蘇州昆劇院公演」が開催されました。

「昆劇」は、京劇のルーツとして知られており、明の時代から600年以上の歴史をもつ中国・蘇州が世界に誇る古典舞台芸術です。2001年に、日本の「能楽」と同時に、ユネスコの「世界無形文化遺産」に指定されました。

今回は、池田市と蘇州市の「友好都市締結30周年」を記念しての公演で、蘇州市と“ご縁”が深い当行も特別協賛いたしました。

日本の地方銀行で唯一、蘇州駐在員事務所を置く当行は、これからも蘇州との“経済・文化交流”を一層深めてまいります。



日頃のご愛顧に感謝して創業60周年記念「宝塚歌劇・貸切公演」を開催

平成23年10月29日、創業60周年記念「宝塚歌劇・貸切公演」を開催いたしました。

総合司会は、元宝塚歌劇団の華陽子さん（1988年から5年間、旧池田銀行のイメージガール）がつとめました。

幕間には、素敵な賞品が当たる抽選会もお楽しみいただきました。

この貸切公演は、「すみれの花定期預金」にお預入れいただいているお客さまを抽選でご招待いたしました。「すみれの花定期預金」は、インターネットで全国どこからでもお預入れいただけますので、宝塚歌劇ファンの皆さまからもご好評をいただいております。



関西学院大学の「KGビジネスプランコンテスト」を共催

当行は平成16年に、関西学院大学と産学連携協定を締結しており、その一環として、毎年11月に行われる同大学の「KGビジネスプランコンテスト」も共催しております。

このコンテストは、関西学院グループの大学生・高校生・中学生や提携校の学生から寄せられた「新規企業への提案や企業のアイデア」を競うものです。

平成23年11月26日には、最終選考会として、公開プレゼンテーション審査会が行われ、学生・生徒とは思えないほどの本格的なビジネスモデルが発表されました。

若い方々の発想から、新しいビジネスが生まれることを願っております。



関西で芸術を志す若い力を応援2013年「カレンダー原画」公募

「地域のため、地域の皆さまのお役に立ちたい」との願いから、関西で芸術を志す若い力を応援するため、平成19年から「カレンダー原画」の公募を実施しております。

昨年は、35大学から、980点もの作品をご応募いただきました。これらの中から、「最優秀作」1点、「佳作」5点を選出のうえ、最優秀作品を当行の2012年カレンダーのメインビジュアルとして採用させていただきました。

6回目となる今年も、2013年用の作品を8月31日まで募集しております。

これからも地元銀行として、地域文化の発展、地域社会の活性化に貢献できますよう、様々な活動を行ってまいります。



「泉州国際市民チャリティーマラソン2012」開催

平成24年2月19日、泉州国際市民マラソンが開催されました。平成6年の関西国際空港開港を記念してスタートした当マラソンも今年で19回目。今回は、東日本大震災で被災された方々への復興支援のため、「泉州国際市民チャリティーマラソン2012」として開催されました。参加選手の定員も4,000人に拡大し、より大きな市民マラソンとなりました。

当行も特別協賛企業として、同大会を積極的に応援するとともに、100名を超える行員がボランティアとして大会運営のお手伝いに参加いたしました。男女の総合優勝者には、それぞれ「池田泉州銀行頭取杯」が授与されました。



池田泉州銀行杯争奪「第27回泉州市民卓球大会」開催

地域のスポーツ振興、健康や福祉の増進、子供の健全育成などに寄与することを目的として、泉州市民卓球実行委員会が定期的に卓球大会を開催しております。

当行は毎年、池田泉州銀行杯争奪「泉州市民卓球大会」として協賛しており、平成24年3月25日も、高石市の大阪府立臨海スポーツセンターにおいて、小学生から大人まで約60チーム200名が参加して開催されました。

平成11年7月に始まった本大会は、誰もが気軽に楽しめる大会となっており、当行は、第1回大会より協賛企業として応援を続けております。



自然環境保全活動に当行の行員と家族が参加

当行は、緑を増やすことで地球温暖化を防止し、次世代の子供たちや動物に暮らしやすい環境を残すことを願って、さまざまな活動に積極的に参加しております。

平成24年2月26日に開催された「第9回・共生の森植樹祭」には、当行の行員とその家族がボランティアとして参加いたしました。

「共生の森」は、大阪府やNPO、企業等の団体が協働で堺市臨海部の廃棄物処分場跡地で「森づくり」を進めているもので、自然の回復力を活かしながら、野鳥や小動物が息する大規模な「ビオトープ」を創造していこうという取り組みです。

当行は、これからも地元銀行として、地域社会のお役に立つような様々な活動を行ってまいります。



新イメージガール登場

平成24年7月に宝塚歌劇団を退団した宙組トップ娘役「野々すみ花」さんに代わり、新しいイメージガールに宝塚歌劇団宙組「伶美うらら（れいみうらら）」さんを起用いたしました。

伶美うららさんは、親しみ易く爽やかな印象で、当行のイメージに相応しく、宙組の新人公演でヒロイン役を務めるなど、今後ますますの活躍が期待されています。

当行では、宝塚歌劇団の創設者である小林一三翁が、旧池田銀行の相談役であったご縁もあり、昭和43年（1968年）より宝塚歌劇団からイメージガールを起用してまいりました。

伶美うららさんは、第10代目（池田泉州銀行としては第2代目）のイメージガールとなります。

歴代のイメージガール同様、「伶美うらら」さんへも、温かいご声援をよろしく願いいたします。

